

名称等	モン ミュゼ沼津の企画展 「佐藤泰司 写真展 沼津にこんな鳥と猫の仲」 「伊藤榮利子 パッチワークキルト展」		
実施日時	平成 29 年 7 月 15 日 (土) ~ 8 月 6 日 (日)		
会場	モン ミュゼ沼津 (沼津市庄司美術館)		
担当	教育委員会 文化振興課		
	直通	(055) 934-4812	内線 2793
問合せ	モン ミュゼ沼津 (沼津市庄司美術館) (055) 952-8711		

1 内容

モン ミュゼ沼津 (沼津市庄司美術館) が企画展を開催いたします。

(1) タイトル: モン ミュゼ沼津 企画展

「佐藤泰司 写真展 沼津にこんな鳥と猫の仲」(1階展示室)

「伊藤榮利子 パッチワークキルト展」(2階展示室)

(2) 期間: 平成 29 年 7 月 15 日 (土) ~ 8 月 6 日 (日)

10:00~17:00 (入館は 16 時 30 分まで、最終日は 16 時まで)

会期中休館日 7 月 18 日(火)・24 日(月)・31 日(月)

(3) 会場: モン ミュゼ沼津 (沼津市庄司美術館)

沼津市本字下一丁田 900-1 Tel (055) 952-8711 FAX (055) 964-1538

(4) 観覧料: 大人 200 円、小人 (小中学生) 100 円 (※ただし市内の小中学生は無料)

2 作者について

○ 佐藤 泰司 (さとう やすじ)

1924 年生 毎日のように朝早くから千本浜防潮堤を歩き、狩野川や観音川などで野鳥を中心とした風景を撮影。ライフワークとして撮影を続ける野鳥は種類も豊富で、カワセミ、シジュウカラ、メジロ、コゲラ、ウグイスなどの自然に生きる野鳥の姿から、トンビがトビウオを捉えた瞬間、富士山や満月を背景にした野鳥の群れ、カワセミを狙う猫、ミサゴが魚を捉えた瞬間など毎日フィールドに通い詰めなければ写すことができない面白い一瞬の写真など様々。

○ 伊藤 榮利子 (いとう えりこ)

沼津第二中学校より沼津西高校を卒業し、国立音楽大学卒業、その傍らパッチワークキルトを制作。1996 年父佐藤泰司氏との初の 2 人展を開催した。現在沼津市在住。

パッチワークキルトとは表地と裏地の間に薄い綿を入れ、重ねた状態で刺縫いし、一枚の大きな布を作る手芸技法。制作を 30 年以上続けている同氏は、ミシンを使用せず一針ひとはりと心を込め全て手仕事で色々な布地を縫い合わせ、2m 四方のタペストリーやポーチなど落ち着いた色合いの作品を作り出す。

詳細については別紙資料をご覧ください。